



沖縄が直面する 戦争危機—ウクライナ

からの教訓



琉球弧の島々では着々と日米両軍の共同使用、共同訓練の場、「軍事要塞化」が始まり、自衛隊配備強化、ミサイル配備が顕在化しています。そしてウクライナ危機に便乗するかのよう、敵基地攻撃論、核共有論が出て、とんでもない方向に向かおうとしています。

沖縄を再び戦場にさせない為に私たちは何ができるのか共に考えませんか。

日時：2022年 **5月18日（水）** 午後6～8時

会場：**ているる（那覇市西町3-11-1）3階、研修室**

主催：**東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会**、協賛：ISF（独立言論フォーラム）、
沖縄自立じんぶんネット。参加費：無料（ただし資料代300円）

基調講演：**木村朗**（東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会共同代表、ISF編集長）

題：**沖縄・日本が米中の代理戦争の戦場にならないために**

第1報告者：**石原昌家**（沖縄国際大学名誉教授）。 題：**よみがえる沖縄戦の悪夢**

第2報告者：**与那覇恵子**（東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会共同世話人・元名桜
大学教授）。 題：**沖縄を戦場にさせないために何ができるか**

司会：**宮城恵美子**（東アジア共同体研究会会員、沖縄自立じんぶんネット代表）

〈連絡先〉：宮城（090-1946-6702）駐車場は狭いのでお早めにおいで下さい。